5.29 全日学園でテストに決起せよ

―― 日大全共斗理工学部薬学科斗争委員会 ――

理工学部の全ての学友諸君

米帝日主義のカンボジア侵攻はいよいよ拡大され、その数十万に達した。

ニクソン・米大統領に対して、7月以降も米軍がなおしばらくカンボジア駐留を続けるよう強く要請するつもりだ（サンケイ・ウル・カンボジア外相へ26日朝日ン）

だが指摘するまでもなく米帝のカンボジア軍事介入の拡大は帝日主義の墓場化行為に他ならない。

これに対するインドシナ人民と、カンボジア解放戦線はサイゴン攻撃を強化、サイゴン市内にみいてさえ、学生、仏教徒間に再び、反米、反政府の動きが活発化しつつある。

さらに決定的なことには、米人民の再度の決起を南ベトナム人民と、現代帝日主義の危機の深さを如実に示すものであった。

なる株価大暴落によってむなえられた事は、米人民、ななんずく、青年学生は直ちに決起した。全米にたちまちに隣え広がった学生ストライキを見よ!! こなど米帝のカンボジア軍事介入は、パリ、ロンドン、ボン、マドリード等 ヨーロッパ全域に燃えとなった反戦斗争によってまさに全世界的な糾弾をうけつつある。

分体の革命状況に対する、帝日主義のアジア支配の再編基軸としてある沖縄闘争は、軍事基地の強化、再武装として進行している。

7・7沖縄復帰準備委員会（7日、米・軍で打成、琉は観同）の下返還＝琉球処分の刀程は今、者をたてて進行しつつある。

何を対立すべきなのな、何な対立されなければならないのな。オー仁年返還は成右沖縄の閉鎖的政治＝軍事支配の下で進むをめざす"新線基地"として再おく「一体化」する刀程である。

季済和造の兒体を解体し、東南アジア進出の刀程として進行するん刀程である。

リ全軍労、県労協、屋良政府の解体刀程であり、いわば勝利の刀伊であった。そしてその事は土地斗争（52年ン本土における刀Qき斗争（67年）に至る刀程は沖縄における刀程でもあった。

56年）の敗北以降、沖縄斗争が展開してきた。

表現してきた我々の沖縄に、全軍労吸収してなければならない。

てくれるのではないなどという甘い情をてなるのりあり得なくなった。

左傾化"をホしている。こなことは恐らくその一つのことは処分されるべき自らの価格引き上げ要求にすぎない。なくなく彼らなり日米共同声明との対決にどうち出すあたり、沖縄において復帰路線を完全にへだてニノを喪失しつつある事を示している。

我々は復帰路線を完全に粉砕し、今その統合軸を喪失しつつある沖縄人民に対し72年帝日主義的返還粉砕、日政参加ー体化阻止のスローガンをなお作る事によって支配の再編＝オニ次琉球処分の政治カ学に対し斗うこととに現地における新たな緊張関係を創りだすなければならない。

本土にあけるうねりを6月における斗争は沖縄現地における、なる頑何を促進しつつ、それとの戦斗的連帯を担う斗争主体の形成を実現するこの方向を明示するものでなければならない！ 我な学斗委は5.29全日学園でテストを拒否決起集会（結集場所時間は、追って訂正連絡します）を持って神田地区の学生・労仂者と共に明治公園に登場する29日理工兄決起集会

午後関東労学兄決起集会

3で 明治公園（日電ラ球谷駅下車）

・米帝のカンボジア軍事介入粉砕！

・日保粉砕・日米共同声明粉砕！

・沖縄ラき粉砕・72年返還粉砕！

・5・29理工スト貫徹・ロックアウト攻撃粉砕！

・神田地区の学生・労仂者との連帯強化！